

報告事項サ

創作体験活動支援事業の実施結果について

創作体験活動支援事業の実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成23年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 横濱 純一

創作体験活動支援事業の実施結果について

家庭・地域教育課

1 目的

子どもの読書活動の推進の一環として文学作品(物語)の一場面を題材に、「鳥の劇場」の劇団員と生徒がともに創作劇を作る過程のなかで、生徒が自ら感じたり、考えたりしたことを様々な手法で表現することにより、物語の世界を楽しむことを学ばせ、本に親しみをを持たせる。

(昨年度は小学校で、今年度は中学校及び特別支援学校で実施)

2 実施校(全13校)

中学校(7校)			特別支援学校(6校)		
中学校(7校)	学年	実施日	特別支援学校(6校)	学年	実施日
伯耆町立溝口中学校	2年	9月26日	鳥取県立鳥取聾学校	中学部1~3年	7月7日
伯耆町立岸本中学校	2年	10月11日	鳥取県立米子養護学校	高等部2年	7月12日14日
大山町立中山中学校	1年	10月20日	鳥取大学附属特別支援学校	中学部1~3年	9月2日5日
鳥取市立湖東中学校	1年	10月25日	鳥取県立鳥取養護学校	中学部1~3年	9月8日13日
倉吉市立鴨川中学校	3年	10月28日	鳥取県立倉吉養護学校	中学部3年	9月27日
鳥取市立高草中学校	1年	11月4日	鳥取県立皆生養護学校	高等部1~3年	10月4日
倉吉市立久米中学校	1年	11月8日			

3 生徒の感想

<中学校>

- ・登場人物の気持ちになって劇を作ることが楽しかった。台詞のない人の気持ちを考えたり、時間や場所などの場面を考えたりすることがおもしろいと思った。
- ・みんなの前で何かをするのは苦手で、最初は恥ずかしかったけど、大きな声を出すこと、笑わずに集中して取り組むこと、男女の関係なく協力してひとつのものを作ることが大事だということがわかった。

<特別支援学校>

- ・初めて役者さんの芝居を観たが、表情豊かに堂々と演技をされていて、その迫力に感動した。
- ・恥ずかしかったけど、最後まで役を演じることができた。不安だったけど、劇団の人にほめられて嬉しかった。
- ・表情と身体を使って表現するのはとても楽しいと感じた。



4 先生の感想〔成果〕

<中学校>

- ・「伝える力」「仲間づくり」「読解」など、いろいろな面で、生徒たちが多くのことを学ぶことができた。

<特別支援学校>

- ・教員も、ゲームや演劇指導の進め方を学ぶことができた。
- ・演劇を鑑賞するよりも、体験することの方が得るものが多いと感じた。
- ・様々な人の思いに気づき、自分の気持ちを問い、よりよい人間関係を築く上で必要な力につながると思った。



5 今後の取組について

- ・2年間の事業実施により、小・中・特別支援学校が、演劇を通じて行う授業の様々な教育的効果を確認することができた。
- ・これらの成果をまとめ、各学校に発信することにより、今後の教育活動の参考にさせていただく予定。